

外国語指導助手配置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S45 年度 経過年数 50 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[元気な社会]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]							
[事業目的]															
外国語指導助手を配置し、中・高校生に生きた英語に接する機会を提供することにより、国際社会で活躍できる人材を育成する。															
[事業内容]															
①配置人数 107名（中学校75名 高校31名（中国語1名含む） 義務教育課1名）															
②業務内容 （1）英語および中国語の授業における教材作成等の授業準備およびチーム・ティーチングなど （2）英語教育に関する活動（中学校英語セミナー、放課後に生徒と英会話教室等）の支援 （3）クラブ、部活動の補助など															
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 80,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		・授業に支障がない範囲で、小学校の要請を受けて、中学校配置ALTが小学校で英語指導を行う。							
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価								
・外国語指導助手107名を配置							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

外国語指導助手配置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	S45 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					経過年数	50 年							
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	575,827			(諸) 57,170		518,657	社会保険料自己負担分							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		474,899	530,592	575,990	578,493	575,827								
2月現計予算額の推移		455,230	500,420	552,526	554,971									
決算額の推移		451,926	498,061	547,927										
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 ALT 10名増員 ・平成28年度 ALT 10名増員 ・平成29年度 ALT 8名増員 ・平成30年度 ALT 4名を大学私学課に持ち替え (私立高校 ALT 4名分) 													
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	英語授業時間の半分以上 英語を使用する学校の割合	(目標) (65)	(70)	(70)	(75)	(75)	文部科学省の「英語教育実施状況調査」の結果より							
		実績 69.8	70.9	72.0	86.6									
活動指標	ALT 配置数	(目標) (93)	(103)	(111)	(107)	(107)								
		実績 93	103	111	107									
他県の状況	石川県 ・県立高校、県立中学、教育センターに44名の英語指導助手を配置 (JETプログラムによるALT：県立高校42名、県立中学校1名、センター1名) 富山県 ・高校に英語指導助手44名を配置 (JETプログラムによるALT：県立高校37名、私立高校7名)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 私立高等学校教育振興補助金 (役割分担) ・私立高校にALTを6名配置するための経費を補助 (大学私学振興課)						

道徳教育総合推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県、市町教育委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
事業実施方法	直営、委託												
補助率	10/10												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [福井から人材育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]						
[事業目的]													
本県独自の道徳教育用教材を作成・活用し、夢や目標を持った児童・生徒を育成する。													
[事業内容]													
①福井の先人たちの生き方を学習する「福井県版心のノート」を作成・配布 ②「私の夢カルテ」を作成・配布し、小学4～6年生まで、中学1～3年生までそれぞれ持ち上がり、夢の実現に向けて自分を振り返る学習を実施 ③保護者・地域参加型の道徳授業「親子で学ぶ道徳講座」の開催（市町委託）													
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 63,000人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		・保護者・地域参加型の道徳授業「親子で学ぶ道徳講座」を実施					
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
・「福井県版心のノート」を小学校に23,200部配布 ・「ふくい希望」を中学校に7,900部配布 ・「私の夢カルテ」を小学校に7,700部、中学校に7,900部配布 ・「親子で学ぶ道徳講座」を9市町15校で実施				・中学校新教科書配布に伴い「福井の希望」作成取り止め				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 458		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

道徳教育総合推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県、市町教育委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,646	3,646				道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業委託						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点					
当初予算額の推移		5,892	5,748	4,104	4,104	3,646	・ 中学校新教科書配布に伴い「福井の希望」作成取り止め					
2月現計予算額の推移		2,711	2,975	2,954	3,196							
決算額の推移		2,455	2,691	2,483								
前年度までの 主な増減理由		・ 平成29年度 印刷部数の見直しなどによる印刷製本費の減額										
[成果指標等の推移]												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	「将来の夢や目標を持っている」と答える児童の割合(小・中学校)	(目標) 実績	87.7	86.1	85.3	85.6	(85)	H31年度までに85%を目標とする。 (全国学力調査質問紙の結果より)				
活動指標	親子で学ぶ道徳講座実施校数	(目標) 実績	(15) 11	(15) 14	(15) 14	(15) 15	(15)					
他県の状況	・ 全ての都道府県で国の道徳教育総合推進事業を実施					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

古典学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H31 年度	
事業実施方法	直営												
補助率													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [福井から人材育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]						
[事業目的]													
福井にゆかりのある百人一首などの作品を取り入れた独自教材を作成し、古典学習の充実を図る。													
[事業内容]													
○百人一首や古文などの作品を掲載した「古典・音読暗唱ノート」を小中学生に配布し、国語の授業や朝の会・帰りの会等で活用													
(主な掲載作品)													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県にゆかりのある百人一首（二条院讃岐、紫式部など） ・ 橘曙覧の独楽吟 ・ 詩・県民歌（三好達治）・啓発録（橋本佐内）・議事之体大意（由利公正） ・ ことわざ・慣用句・童謡 													
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 14,000人							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		・各市町教育委員会が推薦した教員による公開授業の実施					
[事業の評価]													
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価						
・「古典音読・暗唱ノート」を小中学校に16,600部配付							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

古典学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,498				1,498									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		-	4,472	1,845	1,843	1,498								
2月現計予算額の推移		-	4,472	1,845	1,843									
決算額の推移		-	4,461	1,413										
前年度までの 主な増減理由		・平成28年度 小学3年生～中学3年生に配布 ・平成29年度 新小学3年生、新中学1年生にのみ配布												
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	授業等で活用している学 校数	(目標)	-	(266)	(265)	(265)	(262)							
		実績	-	266	265	265								
活動指標	古典音読・暗唱ノートを 配布した学校数	(目標)	-	(266)	(265)	(265)	(262)							
		実績	-	266	265	265								
他県の状況		・姫路市教育委員会では、市内の小学校5、6年生、中学校1、2年生に「古典・名文暗唱ノート」を配布し、授業や朝の学習等で古典や名文の音読・暗唱に活用				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

小中学校ふくい理数グランプリ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会 政策 [福井から人材育成]]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]								
[事業目的]															
「ふくい理数グランプリ」を開催し、児童・生徒の数学・理科や科学技術に対する興味や関心を喚起し、科学的な思考力・表現力等を育成する。															
[事業内容]															
①ふくい理数グランプリ（小学校部門）の開催 小学生を対象とした「ふくい理数グランプリ」を開催し、算数、理科や科学技術に対する興味や関心を喚起 ②ふくい理数グランプリ（中学校部門）の開催 中学生を対象に、3人1組で日常生活にある課題を科学的に解明する理数グランプリを実施し、科学的な思考力・判断力を育成 ③中高接続のための「理数ゼミ」の開催 ふくい理数グランプリで上位に入賞した小学生、中学1、2年生を対象に専門の講師を派遣し、さらなる学力を向上 ④科学の甲子園ジュニアへの対策 科学の甲子園ジュニアへ出場する福井県代表6名に対し、上位入賞対策を実施															
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] のべ2,300人									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
(参加者数) ①ふくい理数グランプリ（小学校部門） チャレンジステージに755名、グランプリ本選に60名参加 ②ふくい理数グランプリ（中学校部門） チャレンジステージに1,179名、グランプリ本選に60名参加 ③理数ゼミを3回開催し、小中学生のべ169名参加 ④科学の甲子園ジュニアに出場する6名に対し、対策講座を実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

小中学校ふくい理数グランプリ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H20 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営										
補助率											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,177			(諸) 446	731	科学の甲子園ジュニア都道府県代表選考費用支援					
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点				
当初予算額の推移		—	1,308	1,348	1,238	1,177					
2月現計予算額の推移		—	1,308	1,348	1,238						
決算額の推移		—	813	1,062							
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 高校教育課から中学校理数グランプリ、理数ゼミ、科学の甲子園ジュニア対策経費の予算を持ち替え ・平成28年度 小学校理数グランプリを新規開催 									
[成果指標等の推移]											
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	算数・数学や理科の勉強が 好きだと答える児童生徒 の割合 (目標)	72.7%	73.9%	73.1	74.1	(75)	H31年度までに75%を目標とする。 (SASA質問紙の結果より)				
活動指標	理数グランプリ参加者数 (人) (目標)	1,090	2,165	2,119	1,934	(1,500)	H31年度までに1,500名を目標とする。				
他県の状況	石川県 ・夏休み期間を活用し、中学生サイエンスチャレンジを実施 富山県 ・夏休み期間を活用し、とやま科学オリンピック事業を実施					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいサイエンスプロジェクト事業 (役割分担) ・高校部門ふくい理数グランプリの開催 (高校教育課)			

芸術教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
事業実施方法	直営												
補助率													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な県政] 政策 [国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化を芸術に]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]						
[事業目的]													
弦楽器や日本画を小学校から体験させ、小中学校での奏者育成や高校弦楽部のレベルアップを図るとともに、形や色彩等による表現の技能を育成する。													
[事業内容]													
<p>(1) 弦楽器活動の育成 小中学校および高等学校の推進校に弦楽器を貸与し、県内外で活躍する弦楽器奏者を派遣し、演奏技術や表現力を育成 (推進校) ①福井市 社北小学校、社中学校、高志中学校 ②敦賀市 松原小学校、松陵中学校 ③小浜市 雲浜小学校、小浜中学校 ④越前市 王子保小学校、武生第六中学校 ⑤越前町 朝日小学校、朝日中学校 ⑥藤島高校、高志高校、武生高校、丹生高校</p> <p>(2) 小学校での童謡・唱歌の活用</p> <p>(3) 日本画を活用した美術教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校の部活動や授業に藝大の学生などを派遣し、実技指導を実施（年2回実施） ・ 全中学校、高校に越前和紙と日本画用絵の具を配布し、美術の授業で日本画を描く事業を実施 ・ 全小学校に越前和紙を配布し、図工の時間に、水墨画を描く事業を実施 													
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 80,000人							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
・ 小中学校および高等学校の弦楽奏者に対し、県内外で活躍する弦楽器奏者を派遣し、演奏技術や表現力を育成 ・ 小学校で水墨画、中学、高等学校で日本画を描く事業を実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

芸術教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	8,577				8,577									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		13,591	12,382	15,624	11,751	8,577								
2月現計予算額の推移		13,167	12,382	15,624	11,751									
決算額の推移		12,911	12,008	14,304										
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 敦賀地区に推進校を新たに追加したことに伴う弦楽器整備費の増額 ・平成30年度 弦楽器整備費の減額 												
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	弦楽器奏者数	(目標) 155	(170) 171	(200) 219	(220) 220	(220)	小中学校の弦楽器演奏者数							
活動指標	発表会の回数	(目標) 63	(61) 68	(67) 72	(70)		小中学校の発表会件数							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい文化の担い手育成事業 (役割分担) ・県内すべての小学5年生に対して、音楽堂でオーケストラの演奏鑑賞などを実施 ・「落葉」のレプリカを作成し学校への貸し出しや出前授業を実施						

吹奏楽活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な県政] 政策 [国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化を芸術に]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]					
[事業目的]												
中・高校生の吹奏楽活動のさらなる充実を図るため、県外プロ指揮者等による技術指導や大型楽器の整備など、吹奏楽部の活動を支援する。												
[事業内容]												
(1) プロオーケストラ指揮者や県内演奏家等の地域人材を派遣し、指導者および生徒に対する指導を年2回実施 (2) 中学生と高校生の合同練習会・演奏会を年2回実施 (3) 大型楽器の購入を支援(1校あたり 県立高校1, 300千円 中学校1, 200千円)												
[受益者] 吹奏楽部に所属する中学生および高校生						[想定される受益者数] 3,600人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価				
・中高合同の練習会を24回開催し、のべ1,394人が参加 ・指導者および生徒講習会を2回開催し、のべ131人が参加								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

吹奏楽活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	33,930				33,930								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		-	-	39,364	39,360	33,930							
2月現計予算額の推移		-	-	39,364	39,360								
決算額の推移		-	-	38,594									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	全国大会入賞校数 (目標) 実績	-	-	0	0	(1)	平成31年度までに全国大会入賞						
活動指標	指導教員研修受講者数 (目標) 実績	-	-	34									
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

小中学校学力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [福井から人材育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]								
[事業目的]															
各小中学校の優れた指導法をまとめた県独自教材を作成し、全小中学校の教員に対し研修会を行い、児童・生徒の学力向上を推進する。															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 31年度新たに推進校12校（小学校7校、中学校5校）を訪問し、教材や評価問題の集約を行い、「教材・評価問題集」を全小中学校に配付 ・ 「教材・評価問題集」と「学校マネジメント集」を活用して、校長や担当教員を対象とした研修会を実施 															
[受益者] 小中学生および教員						[想定される受益者数] 63,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「教材評価問題集」を2,750部作成し、小中学校教員に配布 ・ 「学校マネジメント集」を1,200部作成し、小中学校教員に配布 ・ 小・中学校学力向上研修会を開催し、のべ748人の教員が参加 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内全域の学校マネジメント手法を集約できたため、「学校マネジメント集」の作成取り止め 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 914				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

小中学校学力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,056			(基) 2,056			指導力向上基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		-	-	3,218	2,970	2,056	・ 県内全域の学校マネジメント手法を集約できたため、「学校マネジメント集」の作成取り止め							
2月現計予算額の推移		-	-	2,970	2,970									
決算額の推移		-	-	2,956										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	研修会の実施	(目標)	-	-	(265)	(265)	(262)	研修参加教員数						
		実績	-	-	265	265								
活動指標	「教材・評価問題集」の 配布	(目標)	-	-	(265)	(265)	(262)	全小中学校に配布						
		実績	-	-	265	265								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

地域と進める体験推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営											
補助率	1/2											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [福井から人材育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]					
[事業目的]												
児童・生徒が地域の人々とともに、みずから企画・提案した体験学習やボランティア活動を行うことにより、ふるさと福井に誇りや愛着を持つ人材育成を図る。												
[事業内容]												
<p>○児童・生徒みずからが企画・提案する体験学習を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての小・中学校で、学校と地域住民、企業などの橋渡しを行う「地域コーディネーター」を委嘱。地域が学校に積極的に関わる体制を整備し、子どもたちの体験活動を進化 ・児童・生徒が地域の特産品のPR、まちづくりへの参画など体験活動を実施 活動内容(例) ■福井駅等で越前水仙をPR ■修学旅行先で観光地をPR ■企画したまちづくり案を市長に提案など ・平成31年度は小中学校(226校)で実施 ・体験活動費用を助成(1校 20万円を上限 県1/2、市町1/2) 												
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 63,000人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価				
・児童・生徒が企画・提案する体験学習を全小中学校257校で実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

地域と進める体験推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	22,600				22,600											
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点									
当初予算額の推移		-	2,800	14,400	25,900	22,600	・計画に基づき28校の体験活動完了									
2月現計予算額の推移		-	2,800	14,400	25,700											
決算額の推移		-	2,682	13,581												
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 事業計画に基づき、体験活動実施校を拡充（28校→142校） ・平成30年度 事業計画に基づき、体験活動実施校を全小中学校に拡充（142校→257校） 														
[成果指標等の推移]																
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	地域参画の体験活動を実施した小中学校数	(目標)	-	(28)	(142)	(257)	(226)	平成30年度に全小中学校で実施								
		実績	-	28	142	257										
活動指標	地域コーディネーターを委嘱した小中学校数	(目標)	-	(28)	(142)	(257)	(226)	平成30年度に全小中学校で委嘱								
		実績	-	28	142	257										
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

外国人児童生徒等支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H31 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H33 年度
事業実施方法	直営								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	1/3								<input type="checkbox"/> その他		1 年		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [福井から人材育成]				関連する県の計画等		[]						
[事業目的]													
日本語指導が必要な児童生徒に対する支援体制を強化し、外国人児童生徒の教育の充実を図る。													
[事業内容]													
<p>(1) 外国人児童生徒等が在籍する小中学校に日本語初期指導員を配置し、「特別な教育課程」による日本語指導を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりにあった個別指導計画の作成 ・県、市町、学校関係者による連絡協議会を開催し、成果報告や検証結果の普及啓発を実施 <p>(2) 翻訳機の整備を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での外国人児童生徒、保護者との面談などコミュニケーションツールとしての活用方法を検証 													
[受益者] 外国人児童生徒						[想定される受益者数] 400人							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		・市町が独自に配置する支援員と連携し、日常会話ができる外国人児童生徒への個別指導や教室で授業を受けられる外国人児童生徒に対するチームティーチングを実施					
[事業の評価]													
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価						
							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

外国人児童生徒等支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚						
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H31 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H33 年度		
事業実施方法	直営						□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/3																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	11,211	5,605			5,606	教育支援体制整備事業費補助金 (帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業)											
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点										
当初予算額の推移						11,211											
2月現計予算額の推移																	
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠										
成果指標	日本語初期指導員を配置した学校数 (目標) 実績					(8)	小中学校への日本語初期指導員の配置実績										
活動指標	連絡協議会の開催 (目標) 実績																
他県の状況	富山県 ・支援員を県独自に50名程度配置 滋賀県 ・文科省の「帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業」を活用し、市町に支援員派遣の経費を補助 愛知県 ・教育事務所に語学指導相談員11名を配置し、日本語指導を実施 県独自に60名の教員を採用し、日本語初期指導、教科の取り出し指導、ティームティーチングを学校の状況に応じて実施					関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)									

幼児教育支援事業

区分	継続	経費区分	標準外、政策的経費	シーリング	内・外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[元気な社会]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]							
[事業目的]															
幼児教育支援センターを拠点として、幼児や家庭の教育力向上のための研修などを行う。															
[事業内容]															
(1) 幼児教育力指導力向上事業 ① 幼児教育力向上会議の開催 ② 幼児教育のリーダー（市町幼児教育アドバイザー、園内リーダー）の養成 幼児教育の質向上のための園訪問による実践研修、事例検討会等の実施 ③ 保幼小接続カリキュラムに基づく教育の推進 保幼小接続講座の開催						(2) 家庭の幼児教育力向上事業 保護者の一日保育体験の実施 （保育体験に活用する教材の支給） (3) 遊び活性化プロジェクト事業 童謡・唱歌を通じた家族のふれあい促進 童謡歌手（由紀さおり）による「童謡で伝える会」									
[受益者] 幼稚園、保育所、認定こども園の園児および小学生						[想定される受益者数] 36,000人									
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
・市町幼児教育アドバイザー26名、園内リーダー98名を認定 ・一日保育体験を66園で実施				・童謡で伝える会の開催回数2回⇒1回 ・家庭の幼児教育力向上事業の見直しによる減				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	△ 1,597				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

幼児教育支援事業

区分	継続	経費区分	標準外、政策的経費	シーリング	内・外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	14,552	491		(諸) 464	13,597	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金 ・ 社会保険料 						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点					
当初予算額の推移		20,133	19,286	17,159	17,463	14,552	<ul style="list-style-type: none"> ・ 童謡で伝える会の開催回数2回⇒1回 ・ 家庭の幼児教育力向上事業の見直しによる減 					
2月現計予算額の推移		19,628	15,023	14,802	16,617							
決算額の推移		14,902	14,169	14,524								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度 親力アドバンスコース事業および童謡で伝える会の経費見直しによる減額 ・ 平成30年度 保幼小接続カリキュラムの改訂費用の増額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	園内リーダーの養成人数 (目標) 実績	148	159	91	98		H31年度までに338園全てに園内リーダーの養成を行う。 ※退職や異動により園内リーダーが不在となった場合は再度養成研修を受講					
活動指標	幼稚園・保育園合同研修 実施回数 (目標) 実績	51	49	60								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

英語教育授業改善事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内・外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H31 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	1/3												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [福井から人材育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]						
[事業目的]													
県独自教材などを活用し、教員の指導力向上および授業改善を図るとともに、児童生徒の英語学習に対する意欲向上を図る。													
[事業内容]													
(1) 県内在住の英語を話せる人材を小・中学校の外国語活動や授業および英語関係の行事に派遣 (2) 県独自の教材「福イングリッシュ」や「WORD ORDER DRILLS」を作成し、高校1年生に配布													
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 80,000人							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
・人材バンクを活用し、小学校に地域人材を派遣 ・高校1年生にオリジナル教材を配付し、授業等で活用 ・小学校英語教科化に向けた5年生の評価テストの作成および活用方法に関する研修会を実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

英語教育授業改善事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内・外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	3,562	249			3,313		教育支援体制整備事業費補助金 (補習等のための指導員等派遣事業)					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点				
当初予算額の推移			12,114	18,898	16,492	11,716	3,562					
2月現計予算額の推移			9,734	10,856	14,863	11,716						
決算額の推移			9,307	8,562	12,816							
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 英語教員免許認定講習実施に伴う増額 ・平成29年度 英語教員免許認定講習実施主体変更などに伴う減額(県→大学) ・平成30年度 英語教育強化地域拠点事業完了などに伴う減額 										
[成果指標等の推移]												
区 分			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	高校卒業時に求められる 英語力達成率(%)	(目標)	(40)	(45)	(50)	(52.5)	(52.5)					
		実績	42.5%	44.8%	52.4	56.0						
活動指標	中高英語教員対象研修実 施回数(回)	(目標)	(8)	(8)	(8)	(8)						
		実績	8	8	8	8						
他県の状況							関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			

英語能力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内・外	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H31 年度	
事業実施方法	直営、補助金												
補助率	10/10												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会] 政策 [福井から人材育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]						
[事業目的]													
国際社会で求められる英語力について、生徒が自身の英語力を把握するための一助として、外部検定試験等を活用し、英語学習に対する意欲向上を図る。													
[事業内容]													
(1) 中・高校生の外部検定試験費用を補助するとともに、中学3年生に対し、民間事業者によるSpeaking testを試行 (2) 県主催英検講座の実施(年1回) (3) 留学生を受け入れるホストファミリーに対する支援													
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 80,000人							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
・ 中学3年生(約7,000人)に対し、外部検定試験料を支援 ・ 中学3年生に対し、Speaking Testを試行 ・ 県主催英検講座には、約1,400人が出席 ・ 高校生100名を海外語学研修(カナダ)に派遣								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

英語能力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内・外	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	浦井 寿尚	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営、補助金											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	59,193					59,193						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点					
当初予算額の推移		45,089	89,943	90,745	120,386	59,193						
2月現計予算額の推移		43,119	79,367	89,745	98,585							
決算額の推移		42,561	77,992	86,286								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 外部検定試験の受験補助の開始による増額 ・平成29年度 小学校英語教科に伴う指導案や教材作成費の増額 ・平成30年度 民間事業者によるSpeaking Testの試行および県主催英検講座の実施等による増額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	高校卒業時に英検準2級相当以上の英語力を持つ生徒の割合	(目標) 42.5%	(40) 44.8%	(50) 52.4	(52.5) 56.0	(52.5)						
活動指標	中高校生の外部検定試験受験者数(人)	(目標)	11,245	11,653	15,197							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<ul style="list-style-type: none"> ■ 無 □ 有 事業名 (役割分担) 				